

## フットサルチーム「セロリーズ」

当クラブスタッフで、フットボールファクトリーのメインコーチでもある土屋浩樹が所属するフットサルチーム「セロリーズ」は、軽井沢、御代田、小諸、佐久に住むメンバーが集まり、3年前に発足しました。



別のチームで試合経験を積んできたメンバーが集まったため、結成した年に第19回全日本フットサル選手権長野県大会で準優勝し、翌年には長野県東信フットサルリーグ優勝、また県リーグ参入戦1位となり、晴れて長野県フットサルリーグの仲間入りを果たしました。チームにも自信が付き、いつか県リーグで優勝し、さらに上のリーグに行こうという目標も生まれました。



現在は21歳～33歳まで15人が在籍し、それぞれ働きながら週1回2時間、御代田B&Gを拠点に練習を行っています。フットサルが何よりも好きなメンバーばかりなので、夜遅い練習も仕事の疲れも忘れて没頭しています。



いま彼らが目指しているのは、北信越フットサルリーグ参入です。前哨戦となる長野県フットサルリーグ1部で今年の5月から試合を定期的に行っています。試合は全部で9節あり、12月中旬現在で暫定2位。ここで優勝すれば、北信越リーグに進むことができ、さらにチームの目標である長野県1位になることができます。最終試合は来年1月10日、伊那市の勤労者福祉センター体育館で行われます。

## 女子アイスホッケーチーム「フェアリーズ」

軽井沢風越公園アイスアリーナを拠点に活動をしている女子アイスホッケーチーム「軽井沢フェアリーズ」。メンバー15人は、町民を中心に、長野、群馬、新潟に住む中学生から社会人までで構成されています。メンバーには、スカップ軽井沢・トレーニングルームや木もれ陽の里を担当する当クラブスタッフ、佐藤つばはが所属しています。



アイスホッケーは、選手の俊敏なスケイティング、最速150kmといわれるシュート、めまぐるしく選手が交代するゲーム展開な

ど、他のスポーツにはないスピード感があります。氷上の格闘技といわれる通り、ボディチェックと呼ぶ激しい体当たりも見どころでしょう。ルールは男子とほとんど同じで、ボディチェックによってバックを奪うことだけは女子の禁止事項となっているそうです。

フェアリーズはこれまで、第15回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)で準優勝、第3回軽井沢レディースアイスホッケー大会で優勝、第4回軽井沢レディースアイスホッケー大会で3位といった成績を残してきました。いま目指しているのは、来年2月12日から青森県で行われる全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)での優勝です。勝ち抜くことは簡単ではありませんが、指導を受ける監督やコーチ、そして支えてくれる人たちに今年こそ勝利で恩返しをしたいとチーム一丸となって練習に励んでいます。奮闘する彼女たちを応援しましょう。



## シチズングループがカーリング競技を支援「カーリング未来プロジェクト」

今秋、私たちスポーツコミュニティ軽井沢クラブは、シチズンホールディングス株式会社（東京都）と長野県御代田町に拠点を置くシチズン3社（シチズンマシナリー株式会社、シチズンファインデバイス株式会社、シチズン時計マニュファクチャリング株式会社）より、男子カーリングチーム・SC軽井沢クラブと軽井沢・御代田を中心とした佐久エリアのジュニアカーラーの育成に対し、支援を受けることになりました。

大きな力添えをいただき、「カーリング未来プロジェクト」と題して大きな3つの計画が始動しました。カーリングの普及・発展と優れた選手の発掘・育成について、より一層力を注いでまいりたいと思います。活動については、本誌、公式サイトなどで順次報告してまいります。



**Project:3 「シチズンU21軽井沢Jr.チャレンジカップ2016」**  
21歳以下のジュニア世代を対象に2007年から毎年実施している本大会を、2016年2月の第10回記念大会より「シチズンU21軽井沢Jr.チャレンジカップ2016」と名称も新たに開催することになりました。ジュニアの登竜門となる大会にすべく、内容の充実を図ります。これまで多くは近隣チームの参加でしたが、全国から参加を募ります。

**Project:1 男子カーリングチームスポンサード**  
これまで働きながら海外への遠征や合宿を行ってきたチームにとって資金面は大きな課題でした。2014年世界選手権5位、2015年世界選手権6位と、表彰台に手が届くようになり、現在は2018年の平昌五輪の出場を目指して活動しています。活動資金の充実、さらに企業全体からの声援は、チームが練習に打ち込むうえで非常に大きな支えとなります。過日の表敬訪問では、「22年の北京五輪では、ぜひメダル獲得を！」という言葉もいただきました。応援を力に、まずは日本代表権獲得のため、2月の日本選手権4連覇に挑みます。

**Project:2 カーリング・エリートアカデミー創設**  
世界で活躍する未来の有望選手を育成するため、中長期的な視点で、軽井沢アイスパークを練習拠点とするカーリング・エリートアカデミー（仮称）を創設します。世界トップレベルの技術や情報に精通する男子チームのコーチ・長岡はと美氏や選手がメイン指導者となり、意欲のある地元のジュニア選手、およびチームを育成していきます。特別カリキュラムとして、スカラシップ制度を導入。アカデミー生の中から審査をへて選ばれたチーム（選手）は、国際大会への出場や海外遠征・合宿などのチャンスを提供することも計画されています。

**「シチズンU21軽井沢Jr.チャレンジカップ」**  
開催：2016年2月27日（土）～28日（日）  
会場：軽井沢アイスパーク  
募集：16チーム（男女ミックス編成可）\*応募多数の場合抽選  
参加費：1チーム20,000円  
申込：info@karuizawaclub.ne.jp までご連絡ください。  
詳細をご案内いたします。

申込締切  
1/17

## 2016年4月、フットサルクラブチームを設立します

当クラブは来春、フットサルのクラブチーム「SC軽井沢フットサルクラブ」を設立することになりました。2005年秋より「軽井沢フットボールファクトリー」の名称で教室を運営し、競技を楽しむことを第一に指導していますが、教室（スキルアップクラスを除く）は小学6年生までという制限があります。以前より教室を卒業した中学生以上から多く要望が寄せられていたこともあり、教室で掲げる「軽井沢から世界へ」という大きな夢の実現に向けて本格始動することになりました。

クラブチームになると、年齢や学年を基準にするのではなく、意欲やレベルを重視し、個々の選手のスキルを一貫指導でできるようになります。できるだけ大会に参加する機会も増やします。日本サッカー協会の合言葉、プレーヤーズファーストにもある通り、「大会は選手を育成する重要な機会」だからです。試合を通して成功や失敗を繰り返し、自分の目標を明確にしながら、その高みに向かって上達して欲しいと考えています。

初年度は教室を卒業した13～15歳を対象とする「ジュニアユースクラス」を設ける予定です。初心者、サッカークラブチーム所属選手、サッカー部所属選手も歓迎。性別や条件は問いません。メインコーチは、フットサル長野県選抜選手で全国大会出場経験を持つ土屋浩樹が教室指導と兼務いたします。またクラブチームでは、土屋コーチも所属する長野県1部リーグのチーム「セロリーズ」をトップチームと位置づけ、サポートしていくことになりました。

クラブチームの募集に関する詳細は、内容などが決まり次第、本誌、当クラブ公式ウェブサイト、フェイスブックなどで発表します。



## 賛助会員

いつもありがとうございます。SC軽井沢クラブの事業に協賛いただいている皆さま（敬称略・順不同）

(有)あらしき酒店 (株)インテック (株)永建 SO軽井沢プログラム 追分宿おうぎや (有)クリーンライフ (株)タツノ 鹿島軽井沢リゾート(株) (有)軽井沢デリカテッセン (株)シンピ堂医薬 長岡鉄工(株) たてしなッブル ムーゼの森 セコムジャスティック上信越(株) 柳沢建設(株)



2015年も残すところわずかとなりました。今年みなさんはどんなスポーツの思い出をつくり、またどんなスポーツニュースが記憶に残ったでしょうか？来年も楽しい思い出がたくさん残る年でありませうように。どうぞよい新年をお迎えください。

発行：2015年12月  
編集：NPO法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ  
長野県北佐久郡軽井沢町長倉332-4 TEL) 0267-44-6680  
MAIL) info@karuizawaclub.ne.jp WEB) http://karuizawaclub.ne.jp/



## 「パシフィック・アジア・カーリング選手権大会」日本男子、世界選手権出場枠を獲得

2018年平昌五輪に出場するために必要なオリンピックポイントが獲得できる2016、17年の世界カーリング選手権大会。その16年の予選会となるパシフィック・アジア・カーリング選手権大会が、11月7日～14日までカザフスタン共和国で開催されました。

当クラブ所属、男子カーリングチーム・SC軽井沢クラブは、9月に北見市で行われた日本代表決定戦で日本代表となり、女子日本代表のLS北見とともにこの大会に臨みました。

予選では、日本、韓国、中国が1敗ずつで並んだものの、DSC\*の結果で1位通過となり、決勝トーナメントに進みました。準決勝でニュージーランドに勝利、決勝では韓国に敗れて準優勝という結果でしたが、2位までに入り世界選手権の日本出場枠を獲得しました。また日本女子は優勝し、同じく世界選手権の出場権利を獲得しました。

世界選手権に出場するためには、男女ともに2016年2月、青森で開かれる日本選手権で優勝しなければなりません。チームは4月

にスイスで開催する世界選手権出場と日本選手権4連覇を目指し、大会に臨みます。皆様のご声援をよろしくお願いいたします。

\*DSC=試合前にストーンを投げ、ハウス中心までの距離を計測する。勝敗が同じ場合など、順位を決めるときに使う。



## 秋晴れのもと7千人が快走「軽井沢マラソンフェスティバル2015」

紅葉がちょうど見ごろを迎えた10月の24、25日、今年も「軽井沢マラソンフェスティバル」が開催され、二日間で約7,000人のランナーたちが健脚を競いました。ゲストランナーは二度の五輪出場経験があり、箱根駅伝第6区の区間記録を持つ下りのスペシャリスト、谷口浩美さん。一般ランナーと一緒に景色を楽しみながら余裕で完走を果たしました。



大会初日は高低差400m、碓氷の国道を松井田まで下って折返す「碓氷峠ラン184」です。コース上の県境では、「碓氷峠・国盗り綱引き合戦」が昨年引き続き催され、「上州坂本宿綱引倶楽部」メンバー率いる群馬チームが勝利。残念ながら長野チームは二連敗となりました。

2日目は、メイン会場の軽井沢プリンスホテルスキー場から旧軽井沢～湯川～湯川～南ヶ丘を駆け抜ける「軽井沢リゾートマラソン」です。沿道のあるところで、旗を振って声援を送ったり、バナナを配っていた方もいました。また湯川公園では、地元でストリートダンスを学ぶ子どもが踊りながらランナーたちにエールを送りました。

開催に際して、交通規制にご協力いただきました町民の皆さん、観光客の皆さんをはじめ、給水所や誘導で早朝からお力添えいただいた多くのボランティアの皆さんなど、すべての方々に厚く御礼申し上げます。

## 恒例の秋の運動会を開催 「高齢者スポーツ祭&ユニバーサルスポーツ祭」

10月10日、軽井沢風越公園総合体育館で「2015 高齢者スポーツ祭&ユニバーサルスポーツ祭」が開催されました。誰もが参加できる運動会で、人々が体を動かしながら交流することで垣根のない町づくり、支え合い、助け合う社会づくりを実現しようと3年前から2つのイベントが合同で実施されています。

今年は昨年と比べて6チームも増え、総勢52チーム、のべ520名の参加がありました。さまざまな競技をチームや組に分かれて楽しみ、最後まで頑張る姿には、ライバルからも大きな声援が飛んでいました。

また運営には、赤十字奉仕団など29名ものボランティアが協力。参加者をサポートしたり、応援に回ったりと大活躍しました。



## 軽井沢風越公園のフットサルイベント 「風越カップ2015 Autumn」を開催

今年4月、風越公園グラウンドオープニングに合わせて行ったフットサル大会「風越カップ」が好評だったことから、9月12日に第二弾となる「風越カップ2015 Autumn」を風越公園総合体育館に場所を移して開催しました。

参加は8チームと少数でしたが、小学生から大人まで幅広い年代の男女がそろいました。参加者からは笑顔もたくさん見られ、おの交流を図りながら試合を楽しんでいました。

「風越カップ」は今後も開催予定。詳細は決まり次第発表します。



## 極寒の中みんながんばっています「アイススケート合同練習」

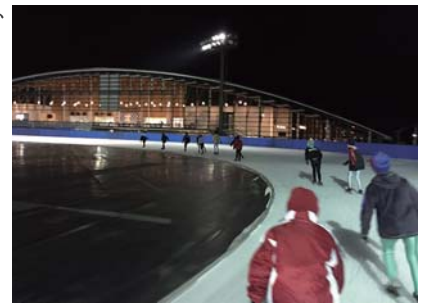
いまから約30年前、軽井沢町の小学生のスピードスケート人口は300名近かったそうです。現在は何人だと思えますか？東部、中部、西部の3小学校を合わせて、なんと33名しかいません。少子化やスポーツの多様化という理由もありますが、厳しい練習で挫折してしまう子が多く、指導者も減ったのが要因です。いま各校の先生方は手さぐりで活動しているのが実情です。

そこで5年ほど前から、毎年10月中旬から2月中旬、毎週火・金曜日の放課後から夜7時まで、軽井沢の3小学校と、御代田南小学校、さらに小諸市の小学校も加わり合同練習が行われるようになりました。3年前からは当クラブの職員が外部指導員として加わっ



ています。団体で行うのは、厳しく辛い練習を励まし合いながら乗り越え、さらに仲間と切磋琢磨してお互いに高め合ってもらおうのが目的です。

白い息を吐きながら、かじかんだ手で靴紐をしぼり、鼻や頬を真っ赤にしながら練習に励む子たち。少しずつですが、全体的に記録が伸びてきています。今後は新しい仲間をいかに増やすかが大きな課題です。興味がある方は、みんなが頑張る姿をぜひ見に行ってください。



## 「フットボールファクトリー」生徒が エスコートキッズを体験

8月30日、軽井沢風越公園総合体育館で「長野県フットサルリーグ1部2015」が行われ、セロリーズvsアプリコスタ千曲戦でフットボールファクトリーの生徒がエスコートキッズとして参加しました。エスコートキッズは、サッカーなどの試合で出場選手とともに入場する子どものこと。選手が子どもの前で恥ずべき行為をしないよう誓う意味もあり、フェアプレーチルドレンとも呼ばれます。

任務を終えた子どもたちは、スピード感あふれる試合を間近で観戦し、大きな声援を送っていました。

試合前の緊張感ある雰囲気味わうのは、とても貴重な体験になると思います。教室では、また機会があれば参加者を募りたいと考えています。ちなみに試合は3-1でセロリーズが勝利しました。



## 「エイジシュートゴルフクラブ」 11年目のシーズンを終える

自分の年齢以下のスコアを目指してプレーする当クラブのclub in club「エイジシュートゴルフクラブ」は、発足11年目のシーズンを終えました。今季は天候の影響で4回も活動を中止せざるを得ませんでした。これだけプレーの機会が少なかったのは、発足以来初めてだそうです。

それでもクラブには8名もの新メンバーが加わり、合計68名という大所帯となりました。目標であるエイジシュート達成者は出ませんでした。シングルプレイヤーは多くおり、皆さん「来年こそは！」と意気込んでいます。

11月8日には納会が催され、恒例となったフラダンスの演舞やカントリーミュージックの演奏などが披露されました。新しいシーズンは4月13日より始まります。



## 軽井沢ジュニアが優勝！ 「日本ジュニアカーリング選手権」

11月24～29日、軽井沢アイスパークで「日本ジュニアカーリング選手権」が開催されました。大会では国内4ブロックを勝ち抜いてきた21歳以下の選手で構成された男女各8チームが出場し、ジュニア日本一の座が争われました。



出場チームのうちの4チーム（女子：軽井沢ジュニア、チーム軽井沢 / 男子：長野県CAジュニア、軽井沢ジュニア）には、軽井沢カーリング少年団の団員、またはかつての団員で、軽井沢カーリングクラブにも所属する選手たちが在籍しています。

4チームは、すべて決勝トーナメントに進出。少年団時代からの夢を実現するために懸命に練習を重ね、目覚ましい成長を見せてくれました。

決勝戦は男女ともに汗を握る拮抗したゲーム展開でした。最終結果は、女子は軽井沢ジュニア（軽井沢ローレル）が優勝、チーム軽井沢（軽井沢FB）が準優勝、男子は北海道ブロックのチームにいのが優勝、長野県CAジュニアは準優勝でした。

優勝した軽井沢ジュニアは、来年1月3～9日までフィンランドで開かれる世界ジュニアBカーリング選手権に出場します。上位3位までに入れば、世界ジュニア選手権の出場の扉が開かれます。軽井沢から世界に飛び立つジュニア選手たちの活躍に期待しましょう。

